

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 2 月 20 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2025 年 1 月 27 日
明治大学卒業予定年月	2025 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	スウェーデン
留学先大学	ヨーテボリ大学ビジネススクール(日本語名) UNIVERCITY OF GOTHENBURG, SCOOOL OF BUSINESS, ECONOMICS AND LAW(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/スウェーデン語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 1 月
留学先大学で在籍した学年	? 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:Handels ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 1 月中旬～6 月上旬 2 学期: 9 月上旬～1 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 54,000 人
創立年	1891 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (SEK)	日本円	備考
授業料		円	協定留学
宿舍費	35,508	498,938 円	Helmutsrogatan、光熱費含む
食費	12,810	180,000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	925	13,000 円	Comviq
現地交通費	3,480	48,899 円	トラム(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	14,233	200,000 円	EU 内旅行
被服費	4,270	60,000 円	アウター購入
医療費	0	0 円	
保険費	4,748	66,730 円	形態：明大サポート
渡航旅費	18,503	260,000 円	FINAIR
ビザ申請費	0	0 円	
雑費	7,116	100,000 円	消耗品・日用品
その他	2,135	30,000 円	交際費
その他		円	
合計	103,728	1,457,567 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地: 関西国際空港 目的地: ヨーテボリ ランドヴェッテル 経由地: ヘルシンキ

復路 出発地: ヘルシンキ 目的地: ヨーテボリ ランドヴェッテル 経由地: 関西国際空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社: FINAIR

料金: 260,000

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)

☐ インターネット(サイト名:)

☒ その他(FINAIR)

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前: Helmutsgatan) ☒ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

留学先からの案内

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一人で住むには広すぎるくらい。キッチンで一人で使える点とスーパーが近いことがメリット。しかし、住人間での交流はなし。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

手荷物は必ず所持し、周囲に気を配っていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネット状況は良好であった。しかし、部屋によってはルーターがないので購入が必要となる場合もある。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードのみ。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

便座カバー、日本の調味料・食品

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9.0 単位	☐ 単位 ☒ 単位認定の申請はしません(理由: 卒業するため。)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☒ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 4 講義まで	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Consumer Behavior	消費者行動
科目設置学部・研究科	SCHOOL OF BUSINESS, ECONOMICS AND LAW
履修期間	2024/09/02~2024/10/04
単位数	7.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 3 回
担当教授	Ulrika Holmberg
授業内容	消費者文化と市場における消費者の役割に関する深い知識と理解を深めます。このコースでは、プラットフォームとして幅広い理論的および方法論的アプローチを提供し、製品、ブランド、広告の消費を分析して、企業や他の組織の戦略的決定に重要な情報を提供するマーケティングリサーチを開発できます。
試験・課題等	毎週計 6P のグループレポート、週 1 回の講義内容クイズ、ライティングテスト
感想を自由記入	講義で取り扱う内容、専門用語の単語、ライティングテストも非常に難しい。グループワークが多い。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing Trends	マーケティングトレンド
科目設置学部・研究科	SCOOL OF BUSINESS, ECONOMICS AND LAW
履修期間	2024/10/07～2024/11/06
単位数	7.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 3 回
担当教授	Benjamin Julien Hartmann
授業内容	マーケティングにおける最新の現代の理論的、実践的、社会的トレンドに関する深い知識と理解を深めます。現在のさまざまな市場分析の問題を問題化し、構造化し、対処するためのトレーニングを受けます。このコースでは、現在のマーケティングの問題と機会に焦点を当てることで、マーケティングのキャリアだけでなく、他のビジネスポジションや組織の役割にも非常に関連する洞察と分析スキルを養うことができます。
試験・課題等	毎週計 6P のグループレポート、期末レポート
感想を自由記入	講義で取り扱う内容、専門用語の単語、ライティングテストも非常に難しい。グループワークが多い。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Economic Geography: The Geography of Innovation	経済地理学
科目設置学部・研究科	SCOOL OF BUSINESS, ECONOMICS AND LAW
履修期間	2024/11/05～2024/12/02
単位数	7.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 3 回
担当教授	Roman Martin
授業内容	EU におけるイノベーションの発生と地理の関係についての講義
試験・課題等	計 2 回のグループプレゼンテーション、フィールドワーク
感想を自由記入	取り扱う内容は基礎的な知識が多い。EU の地理や企業知識が必要。プレゼンの質疑応答が難しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Economic Geography: Sustainability Transitions and the Circular Economy		経済地理学
科目設置学部・研究科	SCHOOL OF BUSINESS, ECONOMICS AND LAW	
履修期間	2024/12/05～2025/1/14(12/20～1/6 まで講義なし)	
単位数	7.5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回	
担当教授	Hanna Martin	
授業内容	EU におけるサステナビリティと経済の関係についての講義	
試験・課題等	グループワーク 1 回、個人課題 1 回、ライティングテスト	
感想を自由記入	取り扱う内容は基礎的な知識が多い。EU の地理や企業知識が必要。講義の内容を深めるためには経済地理学の講義を 4 個取ることがおすすめ。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
マイナビ
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
JTB(旅行を通じてグローバル)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学をする際は就職活動を事前に開始し、日本でしか得られない情報を収集しておく。(就活事務室等) また、私は 4 年時に留学を経験したので、学部卒業単位や事務手続きについて確認をしっかりとることが重要であると思った。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ～ 3 月	英語資格の勉強
	4 月 ～ 7 月	英語資格の勉強、予防接種
	8 月 ～ 9 月	留学出願、選考の準備
	10 月 ～ 12 月	留学選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	期末試験、パスポートの更新、入学手続き
	4 月 ～ 7 月	ビザの手続き、航空券の手配、滞在先の確保、授業申請、各種申請
	8 月 ～ 9 月	留学準備、留学開始
	10 月 ～ 12 月	授業×3
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	授業×1、留学終了、帰国、卒業
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が留学をした理由は、大学生時代に留学を経験しておきたいと思っていたからでした。1・2 年時はコロナが流行しており、留学再開の先行きが見えない状態にありました。そのまま気が付くと留学申し込みが可能なタイミングを逃し続け、結果として 4 年の後期に半年間留学をすることが決まりました。この経験から留学を志すなら早く決断をし、早く行動することが一番重要だと感じました。私の場合は、学部の論文発表大会や就活、卒業論文の作成など常に並行して作業をせざるを得ない状況にありました。そのため、英語の学習は必要最低限しかできず、留学先で悔しい思いをすることも多くありました。皆さんは留学をする場合は留学に集中して取り組むことができる状態を確保することを優先することで、より有意義な留学を経験できると思います。

私が留学先を選択した理由は、経営学について学びを深めることが出来る大学であったためです。留学をするにあたって、語学能力の向上よりも大学生活を通じて学んだ経営学の知識をより多角的な視点から学習したいという思いが強く、経営学を履修可能な大学を選択しました。実際に留学先での講義を通じて、日本で既履修していた知識に関しても他国からの視点や事例、多国籍に意見交換をすることが可能でした。留学先を選択する場合は、自身の関心があることを学べる場所を選ぶことが重要であると思います。

最後に留学生活全般に関するアドバイスは、日本人のコミュニティに参加しておくことも重要であるという点です。私の留学先には多くの日本人がいたため日本人のコミュニティが形成されていました。コミュニティに参加をしておくことで、外国人との交流の場を持つことや困ったときに手助けを貰うことができました。授業などでは日本人以外と交流することがおすすめですが、日常生活で交流できる日本人友達は見つけるべきだと思います。